

日本共産党の竹田えつ子です こんにちははニュース 議会報告

No.187 2022年7月第4週



くらしのご相談事
いつでもお声かけ
ください。

鴻巣市長選挙 並木まさとし氏が当選

あべしんや候補 善戦健闘

現職の原口和久氏が退任し、無所属新人の並木まさとし氏（前県議）・加藤英樹氏（前市議）あべしんや氏（前市議）の三つ巴の市長選挙（7月17日告示・24日投開票）の結果、並木まさとし氏が当選しました。

全面見直しを行い、50億円の財源確保で学校給食の無償化、高齢者医療費の負担軽減を訴え善戦健闘しました。

新たな市長のもとでの市政運営は、8月1日から始まりです。

日本共産党は、小学校の統廃合、新ごみ処理施設をめぐる公文書の隠蔽改ざん疑惑、市長の土地に特別養護老人ホーム建設計画等行政の私物化問題などで共同の運動を進めてきた、無所属新人のあべしんや候補を自主支援しました。新ごみ処理施設建設は大きな争点となり、あべしんや候補は、ごみ処理建設計画の

地球温暖化が大問題となつて昨今、新たなごみ処理施設をどう造っていくのかは重要な課題です。多額の費用がかかり、市民の協力が何より必要で、市民参加で適切公開と、市民参加で適切な場所での建設が求められていると思います。

当選した並木まさとし氏の公約は「ごみ処理施設建設問題の解決には、第三者委員会などを設置した計画の検証や、『想定外』を想定した洪水対策により市民の理解を得ることが求められます」

です。公約を実現していただくために、竹田えつ子は頑張っていきます。

市長選挙の開票結果

投票率	44.57%
並木まさとし	19,831
加藤 英樹	16,680
あべしんや	7,307

新型コロナ感染症「第7波」から国民のいのちを守るために

（日本共産党国会議員団の、新型コロナ感染症「第7波」から、国民のいのちを守るための緊急要請内容は、裏面に掲載）

第7波の新型コロナの感染拡大は、これまで以上に爆発的な広がりをみせています。鴻巣市では、7月24日現在8,061人です。3蜜をさけるなど、これまで以上に気を付けていただきたいと思います。

もし新型コロナで陽性反応が出た場合は、行動を共にしていた方に連絡をしていただくことが必要だと思えます。無症状でも早めにPCR検査を受けていただくことが、更なる感染拡大を防いでいくことになると思います。

鴻巣市内の無料検査会場 (PCR検査・抗原定性検査)

- ウエルシア薬局北鴻巣駅前店
TEL：048-597-3038
- セキ薬局 鴻巣免許センター前店
TEL：048-594-7400（電話予約不可）
- 黒沢薬局 本店
TEL：048-541-0301
- そうごう薬局 北鴻巣店
TEL：048-577-5361
- 黒沢薬局 駅前店
TEL：048-544-5500
- Checkup Center よつば 鴻巣店
TEL：070-8418-4762
- 株式会社 日本医科学研究所
TEL：048-544-1811

コロナ対策としてのマスク生活ですが、熱中症にも十分気を付けお過ごしください



コロナ第7波から命を守る

「新型コロナウイルス『第7波』から、国民のいのちを守るための緊急要請」共産党が緊急要請

田村政策委員長、政府対応を批判

日本共産党の田村智子政策委員長は7月22日、国会内で記者会見し、新型コロナウイルスの感染急拡大が進むもとで、岸田文雄首相あてに党国会議員団の「新型コロナウイルス『第7波』から、国民のいのちを守るための緊急要請」を岸田首相宛に提出したと発表しました。

緊急要請は、オミクロン株BA.5系統等の変異株への置き換わりの影響もあり、経験のない感染急拡大となっていると指摘。発熱外来はパンク状態になり、医療や保健所が崩壊しかねない事態だとして、いのちを守る対策が急務だと強調しました。

その上で、(1)発熱外来の体制、高齢者施設等での頻回検査、無料PCR検査の抜本強化(2)医療全体の体制強化、臨時的医療施設・療養施設が機能する対策(3)保健所の抜本的な機能強化支援(4)必要とする人への円滑なワクチン接種の促進(5)空港検疫の抜本強化(6)なりゆきまかせの対応を改め、BA.5系統への対策の明確化—の六つの柱で対策を求めています。

田村氏は会見で、「この間の政府の対応について、反省を求めることが必要だ」と強調。季節性インフルエンザと危険性が変わらないとの議論があるものの、高齢者の重症化率、致死率はインフルエンザよりかなり高いと専門家からも指摘され、変異株への警戒も必要だとして「根拠のない過小評価にはくみするべきではない」と語りました。

また、政府が6月から入国制限を緩和し、入国時の検査も1日1万件から1日数百件に減少させ、水際対策を「ないに等しい」状態にしたと指摘。一方、第7波に備えるべきときに医療・検査・保健所体制の抜本強化を行うどころか、新型コロナ対応の診療報酬さえ減額させたと批判。死者数も緊急搬送困難事例も過去最悪となった第6波の対応への真摯(しんし)な反省に立ち、医療・検査・保健所体制の強化に取り組むべきだとして「第7波で、いのちを守る危機感を持って対策を行うべきだ」と述べました。



(写真) 記者会見する田村智子政策委員長＝22日、国会内